


Office of Sign Language Supporter  
Development Project

# Photobook 2024-2025

群馬大学 手話サポーター養成プロジェクト室の取り組み

Supported by  日本 THE NIPPON  
財団 FOUNDATION

 群馬大学  
手話サポーター養成プロジェクト室  
SIGN LANGUAGE

# 群馬大学の 日本手話・手話通訳教育

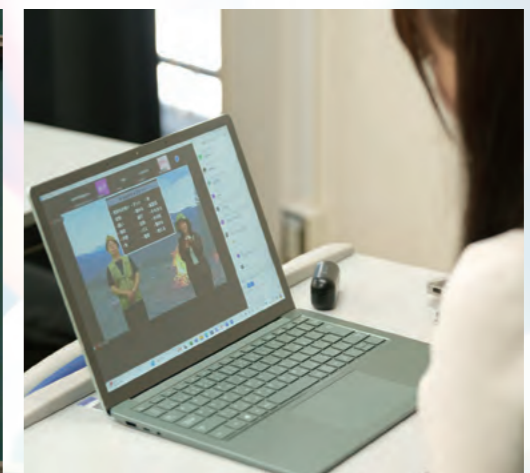
2017年、日本財団の助成により産声をあげた群馬大学手話サポーター養成プロジェクト室。第2期事業「聴覚障害に関わる支援人材育成を目的とした遠隔手話教育システム」は2025年度で終了します。私たちの願いは、日本手話を母語・第1言語とするろう児者が教育、職業、社会生活全般にわたって情報アクセスが保障され、社会において活躍できるようにするための支援者が増えていくことです。第2期事業終了後も、さらに本事業を発展させていきます。



日本手話とろう文化という、日本語とは異なる言語・文化的背景を持つ人々を支援するには、高いレベルの日本手話スキルが必要になります。ところが、日本では高等教育機関で体系的・専門的に日本手話や手話通訳を学べる制度や環境が整っておらず、学習機会や指導の質にも地域格差が生じています。群馬大学では、こうした課題に対応するための環境整備に取り組んできました。対面授業に加え、オンライン環境に最適化された教材や独自の学習管理システム（LMS）を活用することで、全国どこからでも受講可能な学習機会を提供しています。



群馬大学では、CEFR（ヨーロッパ言語共通参照枠）に準拠したカリキュラムのもと、第二言語習得理論や外国語教授法、通訳理論を取り入れた教育設計により、日本手話の言語運用力を段階的に高めていきます。さらに、日本手話教育と手話通訳教育を切り離すことなく一体的に学ぶことで、実際の現場において求められる言語運用力と通訳実践力の双方の習得を目指します。



## STUDENT TESTIMONIALS 受講生の声



日本手話を第二言語として学ぶ学習者が、実際の場面で日本手話を運用できる力を身につけられるよう、群馬大学ではタスク中心指導法 (TBLT) や内容言語統合型学習 (CLIL) などの教育的アプローチに基づいた指導を行っています。



先日、職場のろう学校で、ろう者の同僚から「この1年でずいぶん手話表現が変わったね。日本手話を勉強しているのがわかるよ。とてもいいよ」と声をかけていただきました。先生方から直接丁寧にご指導いただけるうえ、これほどまでに洗練されたカリキュラムが用意されており、それを仕事と両立しながら続けられるのは、群大のプログラムだけです。

(ベーシックコース)

日本手話や手話通訳ができることと、それを教育として指導できることは、異なる専門性です。群馬大学では、言語運用力と学習設計力を備えた教師が指導にあたっています。また、教師は、学習者一人ひとりの背景や目的、学習上の悩みに目を向け、学びの過程に寄り添いながら伴走する姿勢を重視しています。そのような指導のもとで、受講生は日本手話の言語運用力を着実に高めるとともに、通訳実践に必要な判断力・処理力・表現力を身につけていきます。



はじめは、先輩方のように通訳を行う自分を想像することができませんでしたが、短い文章や身近な話題から毎週練習を重ねることで、通訳中に固まってしまうことが少なくなりました。最後には長時間の授業の通訳にも取り組むことができ、1年間の学びを通して自分の成長を実感できました。

(手話通訳者養成コース)

群馬大学の手話の講義は、言語習得のプロセスに沿って展開されているため、想像以上に手話での会話ができるようになりました！ 多様なニーズをもつ子ども達に対して、様々な支援を提供できることは、これからの教師に必要なスキルだと思います。

(手話奉仕員養成コース)



手話通訳を学ぶにあたり、他言語のように参考書が豊富にあるわけではなく、体系的に学べる環境は非常に限られています。そのような中で群馬大学の講座の存在を知り、迷わず応募しました。毎回の授業は目から鱗の連続で、丁寧なフィードバックからも多くを学ばせていただきました。ここで学んだ内容は、今後の通訳の勉強や実践の場において、確かな柱となるものだと感じています。

(アドバンスコース)

CLASSES  
日本手話を学ぶ



市長として立候補演説をしたり、絵本のストーリーを手話で語ったり、ろう者の有名人を紹介したり…と実践的な言語活動の中で、日本手話の文法と実用的なコミュニケーション力を着実に身につけていきます。



授業中は音声禁止。手話を見る「目」を鍛えます。課題は難しいけれど、どんなふうにしようかと手話で相談し合うグループワークはとても楽しい時間です。



CLASSES  
手話通訳を学ぶ



手話ができることと通訳ができることの間には高い壁があります。手話ディベートやインタビュー活動などで「瞬発力」をさらに磨きつつ、要約練習や原稿つき通訳、短い談話の同時通訳に取り組んでいきます。



難しい通訳課題や通訳者としての職業倫理の問題にも共に笑い、共に悩み、共に問題解決を図りながら成長していきます。集大成は美術館でのガイド通訳です。

# Supporter 学生手話サポーターの活動



2022年度から始めた、学生 YouTuber による公式 YouTube。学生の目線を活かした魅力的なコンテンツが配信されています。これも、「手話サポーター」の1つの形だと考えています。



2025年度からは公式 Instagram、Facebook の配信も始めました。フォロワー数、チャンネル登録者数も着実に増えています。応援よろしくお願ひします！



STAFF

# 事業を支えるスタッフたち



授業準備と授業に追われる日々ですが、だからこそチームワークが大事。そして手話の会話が当たり前の日常が、スタッフたちの表情をいきいきとした良い笑顔にさせてくれます。



## スタッフからのメッセージ

日本手話をやってみたいけど難しそう...と思っているみなさん、ろうの当事者でもある教員から学んでみたいと思っているみなさん、手話サポーター養成プロジェクト室のプログラムにチャレンジしてみませんか。

# PROGRAM プログラム概要

学生 手話サポーター養成プログラム

社会人 文部科学省職業実践力育成プログラム  
厚生労働省専門実践教育訓練指定講座  
日本手話実践力育成プログラム

ろう児・者が、手話を母語／第一言語として獲得し、手話で教育を受け、手話であらゆる社会的サービスにアクセスできるようにするには、高度な手話コミュニケーション力を持った支援人材が欠かせません。群馬大学では、厚生労働省の手話奉仕員・手話通訳者養成カリキュラムの基準を満たしつつ、第二言語習得理論・外国語教授法・通訳理論を取り入れた体系的かつ効果的な指導と学習を特徴としています。これらに基づくプログラムを、学生には教養教育および専門教育として対面で、社会人には履修証明プログラムとして双方向オンライン形式で平日夜間に提供しています。

## 1年間で日本手話を習得

### 【到達目標】

- CEFR A2— B1 レベルの日本手話運用力
- 1,500 語以上の手話語彙
- 日本手話の基本文法の理解・産出
- 聴覚障害者の生活や社会に関わる基礎知識

### 【コース名】

- **手話奉仕員養成コース（1年次）**  
言語としての日本手話 I・II（全学対象）
- **ベーシックコース**  
日本手話講座 I・II

手話奉仕員資格を取得するには、コース修了後、市町村での認定手続きが必要です。手話奉仕員資格を運用していない場合であっても、一般的には都道府県等で実施する手話通訳者養成講座の受講資格が得られます。

## 1年半で手話通訳の基礎スキルを習得

### 【到達目標】

- CEFR B2 レベル以上の日本手話運用力
- 3,500 語以上の手話語彙
- 日本手話と日本語の意味的等価性を保持した正確な通訳
- 通訳者としての職業倫理に則った効果的な判断と行動
- 手話通訳者の理念と仕事、健康管理に関わる知識

### 【コース名】

- **手話通訳者養成コース（2～3年次）**  
日本手話と日本語の違いを学ぶ I・II・III（共同教育学部対象）
- **アドバンスコース**  
手話通訳講座 I・II・III

コース修了をもって、各都道府県等の登録手話通訳者認定試験（手話通訳者全国統一試験を含む場合もあり）の受験要件を満たします。なお、「手話通訳士」は養成カリキュラムに関する定めはなく、手話通訳技能認定試験に合格することで取得できます。

### ● 4年次

- SDGs 総合演習：日本手話を活用した聴覚障害児者支援の実践
  - ろう学校での教育実習を想定したロールプレイによる模擬授業
  - 群馬県内の聴覚障害関連施設の協力による体験実習

### ● 学生手話サポーターの活動

手話を学んだ学生たちは、「手話サポーター」として、学内外のさまざまな活動に参加しています。

# OPEN LECTURES 公開講座

群馬大学の日本手話・手話通訳・関連知識に関わる授業の一部を体験することができます。すべてオンデマンド配信ですので、いつでもどこでも、ご自身のペースで受講できます。

## 社会人の方でもライフワークにあわせて受講可能な

### オンデマンド公開講座の特徴

- スキルや知識に応じて様々な内容から選べます。
- 音声通訳・手話通訳・文字通訳がついています。
- 使いやすい e-ラーニング用システム (LMS) にログインするだけで受講できます。
- 受講開始から3ヶ月間視聴可能です。

	開講科目例	概要
手話スキル	「手話とろう文化」 「日本手話の文法を学ぶ」 「文型から学ぶ日本手話・手話通訳」	初心者から中上級者まで、日本手話の文法や表現を段階的に学べる講座です。
手話通訳のための知識（講義）	「手話通訳者のためのデマンド・コントロール・スキーマ」 「遠隔時代の手話通訳」 「手話通訳者のための障害者福祉論」 「手話通訳者のためのソーシャルワーク論」	手話通訳は人と人をつなぐ仕事。通訳者としての倫理的な意思決定や、障害者福祉・ソーシャルワークの知識について学びます。
ろう児者支援のための知識（講義）	「聴覚障害児の理解」 「聴覚障害児の教育課程・指導法」 「ろう重複障害児・者の教育と支援」	ろう児者の教育・福祉において、効果的な支援を行うための知識や理論を学ぶことができます。受講条件はありませんので、専門職に限らずさまざまな方にお勧めの講座です。

#### 概念化・カテゴリ化（範疇化）・言語化

ヒトはこの世に生を受け、現実世界に接するなかで、現実世界で目に見えるもの/見えないものを範疇化して概念を形成することで、世界を秩序づけていく。

概念化 conceptualization → 相互依存 → 範疇化 categorization → 記号化 symbolization

「まず概念化とは何かというのを」

#### 関係節の入った文の作り方：語順

と 息子 / 父・自転車・買う / 乗り回す /  
(息子は、父が買って来た自転車を乗り回している)

日本語の / 父・買う・自転車 / の語順ではないことに注目！  
→ 敬修館名詞が節の内にとどまることが多い

主語 [主語 述語] 述語

「父」「買う」「自転車」の順になっていますが

### 手話とろう文化

～理論～

第8回 2022.6.9

おはようございます

#### 発達（学齢期）の事例

とずる指導を行う習字への小学部児童の9歳児の習字を写す場面。習字は「おはようございます」という言葉で、筆順も「おはようございます」の「お」の書き方を習得している。この場面では、習字の「お」の書き方を習得している。この場面では、習字の「お」の書き方を習得している。

### オンデマンド手話とろう文化

みなさんおたのしみ！





Photobook  
群馬大学手話サポーター養成プロジェクト室の取り組み  
(2024-2025) 2026年3月発行



HPはこちら

国立大学法人 群馬大学 手話サポーター養成プロジェクト室  
〒371-8510 群馬県前橋市荒牧町4丁目2番地  
TEL : 027-220-7157 (直通) FAX : 027-220-7390  
E-mail : signstaff@ml.gunma-u.ac.jp

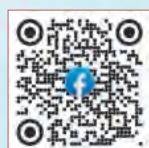
公式 SNS



YouTube



instagram



facebook



X(旧 Twitter)

手話サポーター養成プロジェクト室の情報は二次元バーコードからご覧下さい。